

# 新たな議会スタート……5月16日「臨時議会」開催

臨時議会では、議長・副議長、各委員会の所属・委員長等が決まり、物価高騰対策の給付金支給・軽自動車税のグリーン化特例延長の専決処分が報告されました。

## 日本共産党市議団の委員会所属

### 【常任委員会】

総務・教育市民・厚生・環境水道・経済・都市整備の6つの常任委員会があります。この4年間、日本共産党市議団は、「厚生委員会」と「都市整備委員会」に所属します。(担当は以下のとおり)

### いせり栄次議員

#### 「厚生委員会」

健康福祉局「国民健康保険・介護保険・高齢者福祉・障がい者福祉・生活保護など」と子ども局「子育て支援・児童相談所など」、市民病院事業を所管して審議します。

### 上野みえこ議員

#### 「都市整備委員会」

都市建設局「中心市街地の街づくり、住宅問題(市営住宅含む)、道路・交通問題、公園とみどり、開発・建築許可など」と交通局「市電」を所管して審議します。

### 【特別委員会】

「庁舎整備に関する特別委員会」と「大都市行財政制度に関する特別委員会」が設置されました。

日本共産党市議団は、

#### 「庁舎整備に関する特別委員会」に

上野みえこ議員が所属します。

\*この間の審議を踏まえて、建設費450億円の市庁舎の建替えについて調査・検討します。

### 【各種審議会】

「ホテル等建築審査会」にいせり栄次議員が所属します。

\*「熊本市ラブホテル建築規制に関する条例」に基づき、ラブホテルの建設・改築に関わって、内容を審査します。

議長・副議長、各委員長等は以下のとおりです。

議長 田中 敦朗(自由民主党熊本市議団)

副議長 大畠 澄雄(熊本自由民主党市議団)

### 【委員長・副委員長】

議会運営委員会:(長)寺本義勝、(副)山本浩之

予算決算委員会:(長)紫垣正仁、(副)村上博

総務委員会:(長)小佐井瑞宜、(副)北川哉

教育市民委員会:(長)田島幸治、(副)伊藤和仁

厚生委員会:(長)吉村健治、(副)荒川慎太郎

環境水道委員会:(長)三森至加、(副)山本浩之

経済委員会:(長)日隈忍、(副)島津哲也

都市整備委員会:(長)平江透、(副)齊藤博

庁舎整備特別委員会:(長)大石浩文、(副)三森至加

大都市財政制度特別委員会:(長)澤田昌作、(副)山内勝志



### 【控室から】 緑と自然、登山でリフレッシュ

上野 みえこ

久しぶりの休暇となったゴールデンウィークに、神奈川に住む娘宅を訪れ、孫たちと遊び、心も体もリフレッシュしました。

この時期は、緑が本当にきれいです。昨年夏に孫たちを連れて登った三浦半島の山、途中でリタイアしたので、今回は娘と夫と大人3人でチャレンジしました。4時間のコースは以外に長く、いつまでも続くアップダウン、いくつものピークを超えて最後のピークにたどり着いたときは、膝がガクガクになりそうでした。「ハイキングコース」となっています。が、きちんとした装備が必須です。

完登して初めて、未就学児には無理と、昨年の途中リタイアに納得しました。

低山にもかかわらず、川の源流をたどれば滝や溪流があり、鳥やリスなどの小動物もいて、自然がいっぱいです。加えて、富士山の絶景が楽しめます。

鮮やかな緑と自然、登山で大いに充電しました。新しく始まった議会の本格的な論戦となる6月議会に全力投球していきたいと思えます。



上野みえこ  
(中央区)



いせり栄次  
(東区)

## 日本共産党 熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1  
発行:日本共産党熊本市議

NO. 1322  
2023年5月21日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP:共産党 熊本市議団



検索

# マイナカードと保険証の一体化はやめて！高すぎる国保料引き下げを

## 国保をよくする会と日本共産党議員団 国保・介護の改善求めて申し入れ

5月12日、「熊本市国保をよくする会」で、国保料・介護保険料の引き下げと制度の改善を求めて、熊本市へ申し入れを行いました。市は、国保年金課、介護保険課、子ども支援課が対応しました。参加者から率直な声が届けられました。



### 【参加者の声】

- ・保険料は、政令市で中位になったとは言っても、他の政令市が保険料を引き上げたため、負担は軽くなっていない。
- ・子ども医療費の高校3年までの拡充が、本年12月からというのは遅すぎる。もっと早く実施してほしい。

・「一部負担金の減免」がほとんど

利用されていない。もっと幅広く周知していくべき。市民病院の未収金は億単位になっているが、このような制度も活用すべきではないか。

- ・今後、短期証や資格証明書の発行はどうなっていくのか？との問いには、「資格証明書は中止のままで、短期保険証は発行していく」との回答がありました。
- ・マイナンバー制度と保険証の一体化は大いに問題。情報漏洩や、カードの管理ができない高齢者、カードを取得しない人への対応がどうなっていくのか、心配。との声がありました。
- ・マイナンバーカードを持たない人へは、「資格確認証」を発行するとなっているとの説明がありましたが、その内容については全く把握されておらず、住民の不安は払しょくされません。一体化の中止を強く求めました。

### 保険証との一体化 マイナカードの強制はすべきでない

先ごろもマイナカードを使った住民票の写しのサービスで別人の証明書が発行されるなど問題が発生したばかりですが、マイナ保険証で今回7300件もの誤登録が発生。別人の医療情報5件が閲覧されるという事案が起きています。

問題だらけのマイナ保険証、来年秋から保険証が廃止される予定です。

### 【申し入れの内容】

- ①熊本市の国民健康保険料と介護保険料は、市民世帯の所得から比較しても高く、家計の負担となっています。引き下げ、軽減してください。
- ②熊本市でも地方創生臨時交付金を活用し、国保料減免をしてください。
- ③被保険者資格証明書の廃止、短期被保険証の発行も速やかにやめるようにして下さい。厳しい滞納処分はやめてください。
- ④所得のない0～18歳まで免除対象となるように制度改善をしてください。
- ⑤県内でも「子どもの医療費完全無償化」は34自治体に広がっています。18歳までの完全無償化を実施してください。
- ⑥「医療費の一部負担金の減免」について、困ったときに使える制度として広く知らせてください。
- ⑦コロナ感染症罹患の傷病手当の制度の継続。また、事業主でも傷病見舞金をコロナ感染症以外にも対象となるようにしてください。
- ⑧マイナンバーカードの取得強制につながる「健康保険証の原則廃止」方針撤回を国に要請してください。